

磐田市立豊浜小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年5月22日(火)

5月22日(火) 磐田市立豊浜小学校を訪問し、「発掘調査と学校周辺の遺跡」の授業を行いました。

学区内に、弥生時代から近世まで続く遺跡「元島遺跡」があることを知ると、「こんな近くにも遺跡があったんだ」と驚きの声が上がりました。「元島遺跡」は遠州灘から約2kmに位置し、太田川河川改修に伴い、平成6年から24年度にかけて発掘調査が行われました。調査の結果から、この地には弥生時代から人が住んでいたこと、また、中世から近世にかけて500年間続いた集落があったことがわかりました。授業では、発掘の様子や実際に発掘された土器や石器、茶碗や古銭などの遺物を手に取りながら、昔の人々の生活について学習しました。



当時の人々が使った本物の石器や土器を目の前にして、興味津々、目を輝かせて説明に耳を傾けていました。さらに、実際に手にとって見ると土器や石器を使っていた当時の人々の心に触れたようでいろいろなつぶやきの声が聞こえました。

この授業を機会に古代の人々の暮らしや歴史に興味関心をよせ、学習に励む姿を期待しています。

